

「河川水辺の国勢調査」結果の情報公開について

全国109水系の「河川水辺の国勢調査」結果について、国土交通省河川局の水情報国土データ管理センターからインターネットを通じて、調査データの検索やダウンロードをすることができます。

本年12月2日(月)より、平成12年度調査結果について公表を開始します。

河川別調査結果の取得が可能

・わかりやすい定型帳票を出力(環境学習等に活用)

・現地で取得した全てのデータを出力。(研究等に活用)

「地域」及び「河川」の選択

魚介類

底生動物

植物

陸上昆虫類

両生類、爬虫類、哺乳類

鳥類

水情報国土データ管理センターとは

国土交通省河川局では水に関する情報について、最低限一元的に集約、処理し提供することが、効率的で品質も確保され、セキュリティが確保される場合について、水情報国土データ管理センターを設置し、提供することとしています。また、水情報国土データ管理センターには、提供しているデータの所在をスムーズに検索できる機能（クリアリングハウス機能）や提供しているデータに関する問い合わせに対する一元的窓口機能（ヘルプデスク機能）を持つこととしています。

平成10年度から河川水位、雨量、水質等のストックデータを提供している「水文水質データベース」、平成13年度からリアルタイムの河川水位、雨量等を提供している「川の防災情報」に続いて、河川環境に関するデータを提供するシステムの運用を開始することとなりました。水情報国土データ管理センターではこれらのデータを重ねあわせて提供することとしていますが（図-1参照）、重ね合わせて提供するまでには検討を要するので、当面、簡易的なクリアリングハウス機能及びヘルプデスク機能をもたせ、3つのデータをそれぞれ提供できることをもって、暫定的に水情報国土データ管理センターの運用開始といたします。

* ホームページアドレス <http://www.mlit.go.jp/river/IDC/index.html>

河川環境データと水文水質データ等との融合

データ管理センターホームページにアクセス
GIS地図でから検討対象箇所を検索

データ管理センター運用後

水生圏の凡例表示
出排種の表示
個体数の変化
当該箇所の横断面図
気温 降水量の変動状況
水位変動状況

水情報国土 - Microsoft Internet Explorer

水情報国土

水に関するあらゆる情報を収集整備し、国民がそれを共有し、活用することによって実現された、安全で多様な文化を持つ国土

川の防災情報
水文水質データベース
河川環境データベース
水に関するリンク集

ヘルプデスク
水情報国土について
川の防災情報について
水文水質データベースについて
河川環境データベースについて

データの検索 (クリアリングハウス)
Q&A集 (問い合わせと回答)

河川生態調査結果（検討対象貴重種の個体数の変化）、水文水質データ（降水量、水位、水質変動状況）、河川現況台帳（当該箇所横断面図）を同一画面上で同時に表示し、生息環境の変化に伴う生物個体数の変化を解析する。

図-1 河川環境データと水文水質データを重ね合わせて提供（将来イメージ）

図-2 水情報国土データ管理センター 情報提供画面イメージ

河川水辺の国勢調査

目的

河川に生息する生物等に関する調査を実施し、河川環境保全のための基礎情報を収集・整理する。

調査対象

国が管理する一級河川（109水系）

都道府県が管理する主要な二級河川（H13までに実施河川131水系）

国及び水資源開発公団が管理するダム湖（完成100ダム、調査実施96ダム）

調査項目

河川調査

生物調査： 魚介類 底生動物 動植物プランクトン調査（ダム湖のみ）

植物 鳥類 両生類・は虫類・ほ乳類 陸上昆虫類等

河川空間利用実態調査、ダム湖利用実態調査

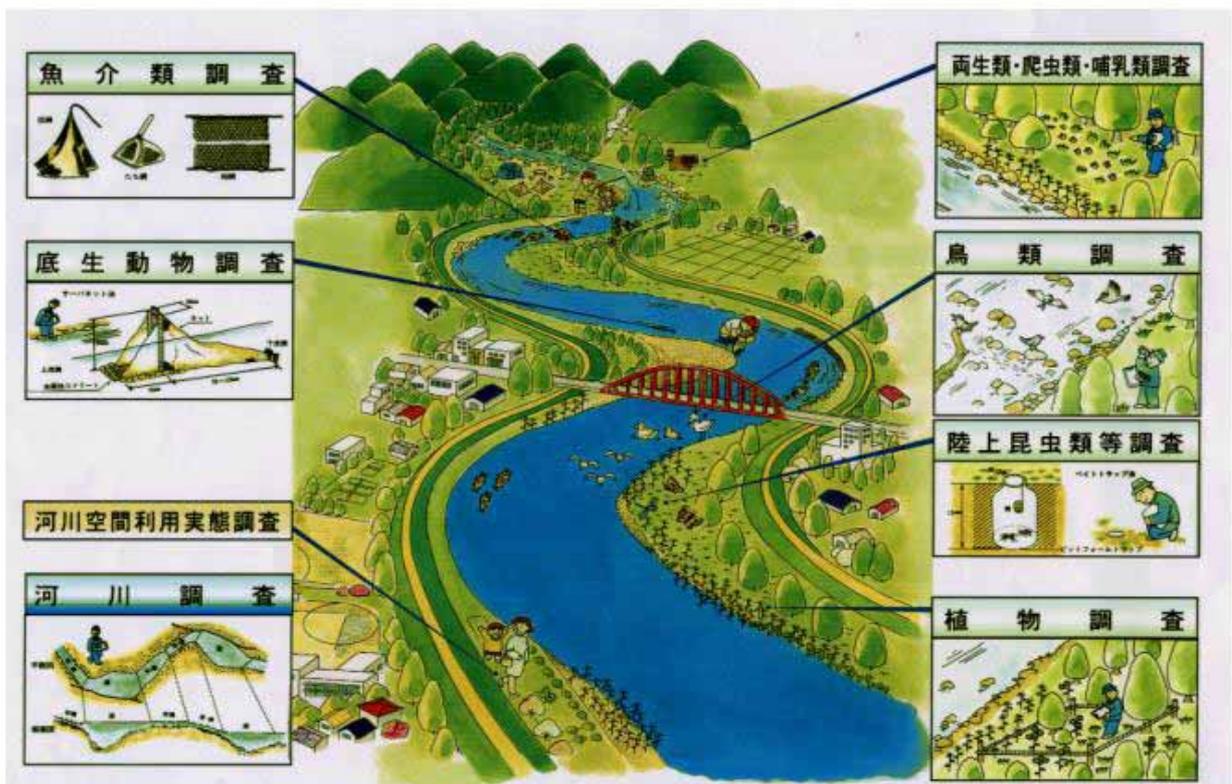
調査状況

平成2年度より開始。

生物調査は、全調査項目が概ね5年で1巡するよう実施。

平成12年度で2巡目が終了し、平成13年度より3巡目開始。

利用実態調査は、3年に1回実施。





0 200 400km

